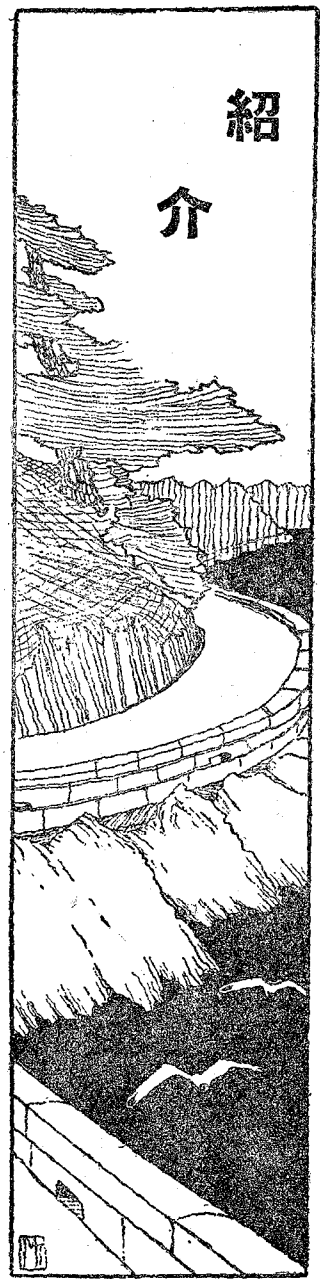


紹

介



八號國道(八王子市淺川町間)

改修工事概要

東京府土木部長 來 島 良 亮

八號國道は東京市より八王子市を經て甲府市に達する所 何等擇ぶ處無き狀態なりしに鑑み昭和二年度に於て同市追
 謂甲州街道にして從來東京府に於て淀橋町より八王子市に 分、千人町間は之を幅員六間に擴張の議を進めたる處偶々
 至る間隨所改修を施行し概ね國道の資質を具備するに至り 先帝陛下崩御に際し、武藏陵墓地を淺川町に治定せらるゝ
 たるも八王子市以西は幅員三間乃至四間にして地方道路と に至りしを以て此計劃を變更して追分町より横山町を經て

淺川驛前に至る間延長二千四百四十三間幅員八間に改修することに改めたり。

其後八王子電氣軌道株式會社の特許線たる關係上本國道に軌道敷三間を併用せしめ同會社をして工費の四分の一を負擔せしむる協定の成立を見るに至り、道路幅員十二間豫算金八拾壹萬八千五百貳拾貳圓を計上し前記軌道負擔金額を控除せる金額の半額は國庫より補助を仰ぐこととなり、昭和二年五月より土地買收地上物件移轉に着手し同十二月完了を見翌昭和三年四月道路工事を起し同年十二月竣功を遂げたるものにして曠古の御大典を記念すべき事業たり。

計劃の概要

本改修區間ハ八王子市追分以西淺川驛前に至る間延長二千四百四十三間にして幅員十二間の内車道を八間歩道兩側各二間とす。地形概して平坦にして縦斷勾配最大六十分の一、最小三百分の一とし、標準橫斷勾配は車道部三十分の一、歩道部四十分の一と定め全線に亘り略直線を成し曲線は三

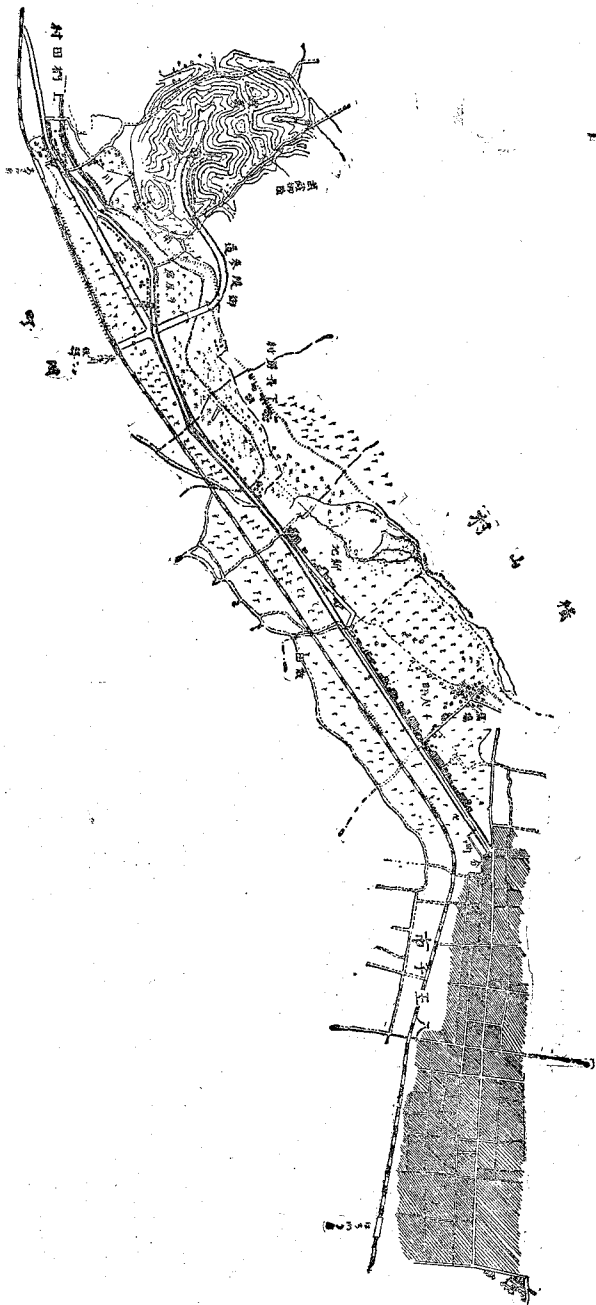
箇所に過ぎずして其半徑何れも五百間以上を取りたり。

道路面の構造は車道部は玉石路盤工厚五寸を張立て敷砂利を施し、歩道は切込砂利厚三寸の基礎上に混凝土鋪裝を施行せるものにして下層配合一、三六混凝土、厚二寸三分、上層一、三膠泥厚七分とし、長九尺毎に伸縮目地を設け排水設備として道路幅員外に幅一尺五寸の混凝土側溝を設け街溝長二十間毎に設けたる雨水桝より土管に依りて側溝に導くものとす。街路樹には公孫樹を選び歩道上四間間隔に植栽せり、猶橋梁一箇所鐵筋混凝土拱橋徑間十六尺幅員七十二尺を架設せり。

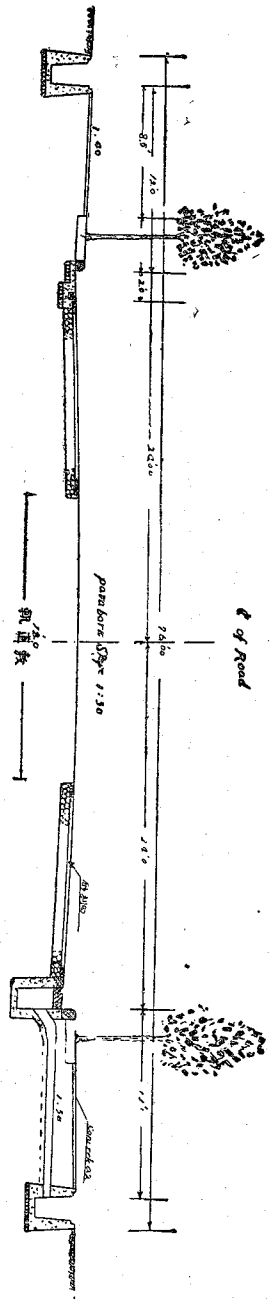
工費

用地買收費	
買收坪數	一八九、〇五五圓
寄附坪數	一六、九九八坪
	三、〇五四坪
地上物件補償費	二二六、四七〇圓
此棟數	二八八棟
工事費	一四三、九二〇圓
雜費	五〇、九六三圓
計	七一〇、四〇九圓

八號通車段修築平面圖



標準橫斷面 畚



紹介